2019 年度　　授業概要

科目名	小児科学							授業の種類	講義	必修・選択	必修
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期		2年	前期

【授業の目的・ねらい】
子どもが直面している課題に、リハビリテーションの技術を習得しながら、子ども・家族への配慮・共感・支援を行う為に、小児に関する疾患を学ぶ。

【実務者経験】

【授業全体の内容の概要】
小児科の基本的な疾患を学ぶと共に、作業療法士が遭遇しやすい発達障害・運動障害疾患を中心に学習する。

【授業終了時の達成課題（到達目標）】
小児科領域の代表的な疾患を挙げることができ、その概略を説明できる。また、各疾患における代表的な障害を列挙し、説明できる。

回数	講義内容	準備物(教材)
1	小児科学を学ぶ意味　基本的知識の確認	プリント
2	代表的中枢神経障害と疾患	プリント
3	先天異常疾患	プリント
4	前回授業復習：遺伝　先天性代謝異常症　中枢神経系感染症一部	プリント
5	中枢神経疾患	プリント
6	中枢神経疾患	プリント
7	その他	プリント
8	その他	プリント
	定期筆記試験	

【使用教科書・教材・参考書】
標準シリーズ小児科学（医学書院）

【準備学習・時間外学習】
人間発達学や小児に関連する評価を事前学習しておくこと。その上で、発達障害の治療学に活かせるよう復習しておく。

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】
試験の結果を100点満点として成績を評価する。
試験は定期試験のみとし、
60点以上の場合に科目を認定する。